

●長生きしてね！

～敬老会～

9月17日、体育センターで、町主催の敬老会が開催されました。

式典では、喜寿の人や金婚式等を迎えたご夫婦に記念品が贈られ、肖像画は、氷室素恵さん(向川原)に贈られました。



今年度100歳を迎える
直井高治さん(下蒲生)

●高齢者訪問

9月3日、町長・助役による高齢者訪問が行われ、100歳以上・白寿(99歳)の11人に、記念品を贈り長寿を祝いました。



町内最高齢102歳の
大塚フサさん(石田下坪)



みんなで輪になって踊ろう

●地域住民の交流

～コミュニティ推進協議会で盆踊り～

8月21日、本郷北小学校のグラウンドで本郷北コミュニティ推進協議会による盆踊りが開催されました。

参加者は、「日光和楽踊り」や「上三川音頭」を太鼓や笛に合わせて踊り、子どもたちは、打ち上げ花火や手持ち花火を楽しみ、地域の交流を深めています。

●大きなサツマイモにびっくり！

角田安男さん(下神主)の畑で、大きくて長いサツマイモが収穫されました。

サツマイモの収穫が始まる前に、伸びたツルを返していたところ、畑から飛び出しているサツマイモを発見、掘りおこしてみると、なんと長さ60cmを超える大物でした。角田さんは、「何年も作っているが、一番の大きさだね。味は普通のもので変わらないと思うけど、しばらくは飾っておこうと思います。」と話していました。



こんなに大きなサツマイモです



すべての取組みが熱戦です

●はっけよーい、のこった！

～ちびっこ相撲～

8月22日、恒例となりましたちびっこ相撲が、上郷の愛宕神社で、多くの子どもたちが参加し行われました。

会場は、わが子や友だちを応援する「がんばれ」「押せー」と大きな声が飛び交い、力の入った熱戦で盛り上がりました。

中には土俵に上がる前から泣き出してしまおう、かわいらしい子どもの姿も見られました。

●栃木県民福祉のつどいで表彰



小久保さん

大橋さん

内堀さん

星さん

9月2日、宇都宮市文化会館で開催された第10回栃木県民福祉のつどいで、次の4人が表彰を受けました。

星アサイさんが、ボランティアの功労が認められ栃木県知事表彰、内堀晴弘さん、大橋佳夫さん、小久保美枝子さんの3人が、民生委員児童委員としての功労が認められ栃木県社会福祉協議会会長表彰を受けました。

●夏の夜の気持ちのいい汗

8月21日、鬼怒川サイクリングロードで「ナイトウォーク」が行われ、今年の夏は本当に暑い日が続きましたが、皆さん昼間の暑さを忘れて、気持ちのいい汗をかきながら夜道を歩いていました。

夜9時に蓼沼緑地公園に集合した参加者は、サイクリングロードを北に向かい、約16kmの道のりを5時間かけて完歩しました。



夜風の中を元気に歩く参加者



見た目は本当にボールのようです

●白いボール？

9月上旬、鯨一男さん（井戸川）宅の庭に、突然直径20cmくらいの白くて丸い物が出現し、鯨さんや近所の人を驚かせました。

実は、この正体はキノコ的一种で「オニフスベ」といいます。見た目は、まさしくゴムボールにそっくりで、さわり心地はマシュマロより少し堅い感じです。鯨さんは、「初めて見ました。こんなキノコがあるんですね。」と話していました。

●NISSANしらさぎ祭り

9月5日、日産自動車の駐車場でNISSANしらさぎ祭りが開催されました。

開会式では、日産自動車(株)栃木工場社員の募金で購入された車いすが、社会福祉協議会に寄付されました。訪れた人は、ステージで行われた「デカレンジャーショー」や「大声大会」等の催し、また、テストコース見学には、多くの人々が列を待たせ、様々なイベントを楽しんでいました。



「よさこい踊り」には子どもたちも参加

●変わった竹

柳田伝郎さん(石田下坪)宅の竹やぶに、変わった姿の真竹が一本生えました。

広さ約一反歩の中の本で、同じ時期に生えてきた竹は高さが10mを超えていますが、これは約2m50cmで、節と節の間隔が短く枝が密集して出ているため、フサフサとして竹ぼうきを逆さまにしたような姿をしています。

柳田さんは「変なのが生えてきたなと思いながら、邪魔にはならないので、そのままにしていたらこのような姿になりました。来年も同じものが生えてくるか楽しみです。」と話していました。



不思議な姿の竹

●町商工会工業部会による 学校ボランティア活動

毎年、町商工会工業部会では、ボランティア活動の一環として「学校ボランティア」を実施しています。

昨年は、8月17日に会員15名が参加して、明治南小学校の倉庫修繕や池の金網の修理を実施し、本年は、8月29日に会員11名が参加して、坂上小学校の図書室書棚の修繕や校舎内部の塗装を実施しました。

夏休み中に破損箇所を修理し、気持ちよく施設を利用できるようにと始められたもので、今年で17年目になります。



坂上小図書室の書棚を修繕

地価や評価額が下がったのに 固定資産税はなぜ上がるの？

近年、一部の地域を除いて全国的に地価の下落が続いています。

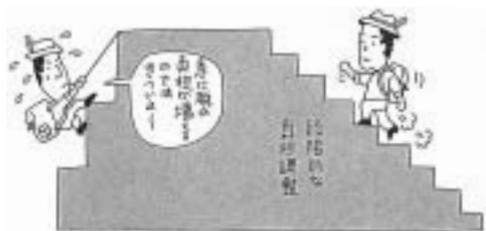
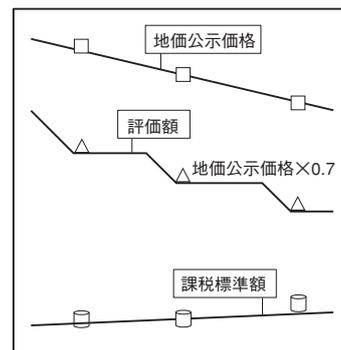
そんな中、「地価の下落で土地の評価が下がっているのに、税額が上がるのはおかしいのでは」という問い合わせが多く寄せられます。

平成6年度の税制改正により、固定資産税の宅地等の評価額は、全国的に地価公示価格の約7割に統一されました。その結果、バブル景気の地価高騰も受けて、当時の上三川町の評価額は上がりました。

固定資産税は原則として評価額＝課税標準額とし、これに税率を乗じて算出いたしますが、納税者の皆さんに急激な税負担はお願いできません。

そこで、段階的に課税標準額を引き上げて評価額に近づける『負担調整措置』という方法が採られています。

現在でも課税標準額が評価額を下回っている土地は、地価の下落にもかかわらず税額が上昇する場合があります。



▼問い合わせ先＝税務課 資産税係 ☎9123